

みよみよ通信

金沢市議会議員 広田みよ

議中
しつ
まい
す。心
お、に
ご
知市報
ら政告
せにを



VOL.60
2025秋冬



大雨被害の支援制度をご活用ください！

8月の大雨被害にあわれた皆様に改めてお見舞い申し上げます。
内水やがけ地対策を強めなくてはなりません。議会で取り上げました（中面）。
支援制度を右のサイトでまとめましたのでぜひご活用ください。



広田
サイト



金沢市
のサイト

り災証明書・被災証明書のご判断に迷われている方はこちら
資産税課 電話076-220-2151

どなたでもご相談はお気軽に！

ご連絡は、お電話やメール、
どのSNSからでもOKです！



公式LINE



Facebook



Instagram



X



TikTok



公式HP

日本共産党金沢市議員団
市役所7階
TEL:076(220)2407
movieemovie@yahoo.co.jp

金沢市議4期目
あゆみ保育園・十一屋小・野田中・
泉丘高校・埼玉県立大学卒業
2012年まで城北病院勤務（看護師・
保健師）
2023年 防災士取得



予算・議案について

16件の議案のうち 3件に反対。陳情1件には賛成。

市民の命とくらしを守るために必要な予算や条例には賛成し、そうでないものには理由を述べ、くらしや福祉に予算をまわすよう求め反対しました。



9月議会
まとめ



討論全文



緊急整備地域
のまとめ



反対した理由

金沢市は市民のくらしよりも緊急整備地域（金沢駅東地域 右図）の大型開発に突き進んでいます。

この開発事業は、一部の大手企業に税金の減免や補助などの優遇を行い、金沢市が定めたまちづくりの規範である高さ規制や容積率をまなし崩しにするものであり認められません。地元の農業や中小・小規模事業者、商店街を支援し、市民主体のまちづくりを行うべきです。



賛否がわかれた議案や陳情（振替）

※○：賛成、×：反対、除：除斥、退：退席、欠：欠席、議長は採決に加わらないため、「/」と表示しています。
※会派の名称：公明党（公明党金沢市議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、さ（金沢さくら会）、結（結び会）

件名	本会議の結果	自由民主党金沢市議員会												みらい金沢				公明党		新生かなざわ		日本共産党		結												
		道上周太	宇野裕基	大西克利	柿本幸博	北田幸哉	上田雅大	中川俊一	小間井大祐	坂本泰広	高田誠	麦田徹	前田誠一	野下正伸	久保洋子	福田太郎	横越徹	高村佳伸	黒口啓一郎	川島美和	坂本順子	新谷博範	栗森一敏		森坂秀明	山本ひかる	稲端明浩	源野和清	高務淳弘	熊野盛夫	玉野道	山下明希	広田美代	森尾嘉昭	清水邦彦	喜成清恵
◇ 市長提出																																				
令和7年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
金沢市税賦課徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○			×	×	×	○	○
◇ 議員提出																																				
鶴保庸介参議院議員の能登半島地震に関する発言に抗議する決議	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
能登半島地震被災者の医療費窓口負担と介護サービス利用料の免除再開のための財政支援を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×		
消費税減税実施を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	
生活保護基準引下げ訴訟判決を踏まえた改善を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×		
外国人の国民健康保険料及び住民税に係る未納対策を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	
◇ 陳情																																				
消防団の施設、設備の全額公費による整備を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	

①



②



③



④



結果全体
はこちら



9月議会論戦 ピックアップ

金沢市中小企業・小規模企業 振興基本条例が制定

9月議会で中小企業・小規模企業振興基本条例が可決。今後検討会が設置され計画が立てられます。

私は市長への質問で、市の責務を明確にするとともに、小規模企業者の検討会への参加を求め「委嘱する」と答弁がありました。

賃上げ支援や公契約条例の制定も求めました。

除雪の拡充を求めました！

金沢市の除雪路線は市道の4割にとどまるため、これまでも拡充を求めてきました。市は、委託業者の確保困難などを理由にしますが、他都市はなぜ除雪率が高いのでしょうか。

今回は85%除雪を実現している福井市（下図参照）のように、金沢市でも二ーズのある業者への機械の貸し出しや購入補助の提案をしたところ、市は重要路線や幹線道路、地域の主要道路が大雪でも速やかに除雪できるよう定めており、あらたな補助は課題も多く考えていないとしました。

しかし、高齢化や空き家などで地域の除雪は限界。引き続き求めます。

R6年度	福井市	金沢市
市道延長	2186.8km	2202.2km
除雪延長	1860.2km	920.2km
除雪率	85.1%	41.8%
消雪延長	83.7km	208.0km
※除雪延長に含む		

がけ地対策の強化を 求めました！

8月の大雨で市内106か所のがけ地被害が発生。早急な対策を求めました。市内では559か所の土砂災害警戒区域のうち、人家5戸以上などに被害が及ぶ344か所を重点箇所位置づけ優先的に整備しているが、R7年3月末で整備率は25%。重点箇所のうち、市有地の速やかな対応を求めたところ、市は、人家に被害を及ぼす恐れのある7か所について順次対策工事をし、今年度末には2か所が完了予定で、残り5か所も早期の工事を目指すとしていました。

インフラは直営を求めました！

金沢市は現在、道路・河川・公園をまとめて民間に委託する検討を始めています。財政が厳しい・人員不足などを理由にしますが、財政は計画を立て平準化しており、人員については技術職員が中核市の中でも少なく、職員体制を強化すべきだと求めました。

市は技術職は重要で増員もしており引き続き採用強化していくとしました。が、直営を求めると市長は「優秀な職員の確保に努め、行政サービスを維持させる努力をする」という曖昧な答弁。今年度はモデル地域で実施の予定もあります。導入のための調査などをコンサルに委託していますが、除雪を拡充するための調査をやってもらったらどうでしょうか。

地域除排雪活動費補助が拡充されました！

○限度額 50万円 → 70万円
○対象期間 雪害対策本部設置期間
→ 設置前数日間を追加

9月議会
質問全文



詳細こちら



被災者支援打ち切らないで！

被災者の医療費・介護利用料の負担免除を富山県や福井県などほかの被災地は継続する中で石川県の市町だけが6月末で打ち切りました。アンケート調査でも85.4%の方が通院に影響が出ると回答。被災者の命を守るために再開を求めました。

しかし市長は「能登の市町で免除する動きもみられず本市として再開は考えていない」としました。

金沢市長は石川県市長会の会長です。国や県に財政支援も含め再開のために尽力すべきではないでしょうか。

市立保育所の主食提供が 来年度から開始！



来年度から市立保育所で主食提供するための予算がつきました。私立の施設では4割が主食持参です。環境整備ができるよう支援を求めました。
市長は、施設整備についてはこれまでの補助制度を活用してほしいとしながら、「備品の購入についての補助制度はないので、今後の研究課題とする」としました。

広田の取り組み進捗状況(抜粋)

- ・除雪路線の拡充⇒1次、2次路線の出動基準が改善。2023年度は3次路線の出動基準が60cmから30cmに変更された。地域除排雪活動費補助の拡充が進んだ。
- ・ごみの有料化見直し⇒コロナ禍で家庭ごみが増えるなど社会状況が反映され、有料化の検証が困難に。2024年度以降は市が把握する家庭ごみは減っているが、資源ごみの民間回収分が把握できずごみの総量がわからないという課題がある。
- ・国保料、介護保険料の引き下げ⇒介護保険料は3年ごとの改定だが、2024年度改定時は基金を使い据え置きになった。
- ・山間部や郊外にもふらっとバスを⇒地元運行の地域運営交通が増えているが、地元負担が課題。
- ・子どもの医療費助成を高校卒業まで拡充⇒2023年10月から入院について18歳まで窓口負担も含めゼロへ改善。また、ひとり親家庭については通院・外来とも18歳まで窓口負担も含めゼロに改善。
- ・学校給食の無償化⇒2025年度の給食費を値上げするか議論があったが、申し入れなども行い値上げはされなかった。引き続き署名も募り無償化を求める。
- ・保育士の処遇改善・配置基準の引き上げ⇒2024年度、国は75年ぶりに3歳児20:1から15:1に、4歳児30:1から25:1へ引き上げ。市は独自で4・5歳児25:1から20:1へ改善した。
- ・保育料無償化⇒2025年度の保育料から第2子以降については0円に改善。
- ・学童保育支援員の処遇改善⇒2024年度に支援員の大幅な処遇改善が行われた。
- ・加齢性難聴の補聴器購入補助の創設⇒2022年度の議会質問で市長から「研究していくべき課題」という答弁を引き出す。

納税課の電話・窓口民間委託は 中止を！

金沢市は、10月から市役所2階納税課の電話・窓口対応を民間委託しています。市民サービス向上としながらも、滞納整理や差押さえに専念する体制を整えるためとしています。

窓口などの対応は困窮した方を生活相談につなげる重要な役割です。市は適切に行うと言いますが、委託職員に対し、市の職員は直接指示は出せず業務を切り分けることになります。個人情報保護の観点からも、委託について市民の理解は得られません。体制が不足しているのなら増員すべきであり、市民のくらしと安心にしわ寄せするべきではありません。

詳細
こちら

